

J A 徳島厚生連



Yoshinogawa Medical Center

吉野川医療センター

初期臨床研修のご案内



～ 吉野川医療センター 理念 ～

暖かな医療と信頼される質の高い医療を提供し、私達は、地域住民の皆様に対し、思いやりのある誠意と尊重をもって保健福祉の増進に尽くします。

～ 吉野川医療センター 行動目標 ～

- 一、患者さんの人格を尊重し、いたわり・思いやりの気持ちで接すること。
- 一、かかりつけ医との連携を深め、地域完結型の医療を進めること。
- 一、常に専門職としての意識と各部門間の協力を忘れず、患者様と協同して医療にあたること。



当院は、人口約10万人に対する中核医療機関として多くの症例の治療を行っております。医師数は46人ですが、各科の垣根は低く、多くの診療科が協力し治療に当たっています。初期臨床研修を行う環境としては最適な環境であると自負しております。

医師としての人生を考えると、いかに life plan を設定するかは非常に大切なことです。一般臨床医、研究者、医療技官など選択肢は多くありますが、どの道に進むにせよ、その基礎となる医学的知識、技術の習得、人間関係も含めた医学以外の幅広い知識の集積は不可欠です。当院では初期臨床研修医に必要なとされる医学的知識・技術の習得のみならず、台湾高雄市にある高雄医科大学との交換留学生制度を締結しており、希望する診療科での約2週間にわたる海外研修も可能です。多くの機会を活用し、将来のご自分のため、当院での2年間の研修を役立てていただければ幸いに存じます。

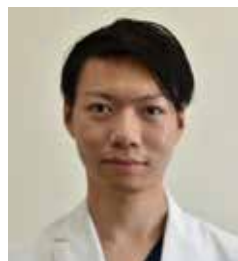
院長 長町 顕弘



当院は県中部から県西部のほぼ全域にわたる医療を担う病院です。そのため、様々な疾患に対応する能力が要求されます。当院では、1) 指導医・上級医の熱い指導、2) 気管内挿管(週1回)指導、3) スキルスラボでの中心静脈ルート確保、胸腔・腹腔ドレナージ、腰椎・動脈穿刺指導、4) 救急症例検討会(週1回)、5) ACLS・BLS講習、6) 全国・地方学会発表、7) 海外研修(台湾)などを早くから経験していただき、3年目から自信を持って活躍していただけるように心がけて指導しています。

また、当院では各科の連携が密で、垣根がなく、病院全体で一丸となって研修医を育てる、「**研修医のいない病院に明日はない**」との信念で熱く優しく指導する医師、看護師ばかりですので、是非一度見学にきて体験して、将来共に働ければ幸いです。

副院長 佐藤 宏彦 (プログラム責任者)



吉野川医療センターでの初期臨床研修が始まり1ヶ月がたちました。右も左もわからない状態からのスタートではありましたが、指導医の先生方、スタッフの方々から手厚いご指導をいただき、毎日充実した研修生活を過ごしております。

研修内容ですが、一年次の4月には一般内科、消化器内科、循環器内科のいずれかからスタートし、自身の体力や将来の展望に沿って研修プログラムを作成できます。私は一般内科からスタートしましたが、毎日の採血や気管内挿管、胸腔穿刺など多くの手技を経験しております。また、当直は週1回程度で、多くの経験を積むためにたくさん当直に入ることも、日中の業務が忙しく体力的に余裕のない時期に当直の回数を減らすことも可能(月0回でも良い)です。当直中も研修医のみで患者対応をすることはなく、常に指導医の先生や看護師さんからのご指導やサポートをいただきながら業務を行うことができます。これら日々の研修内容に加えて二年次には徳島大学病院でも希望の診療科の研修ができるほか、国内外での学会発表や台湾での海外研修に参加することもできるため最先端の医療に触れる機会も豊富です。

少しでも当院での初期研修に興味を持っていただけた方は是非気軽に病院見学、病院実習にお越し下さい。皆様からのご連絡・お問い合わせをお待ちしております。

一年次研修医 久米 航輝

1. 臨床研修プログラム基本理念

医師としての基本的な診療能力の習得や各種疾病への適切な対応と同時に医療・医学の持つ社会的な側面の重要性を認識する。

もって医療人として必要な人格を養成し、地域医療から高度専門医療に対応しうる人材の育成を基本とする。

2. 研修プログラムの特徴

徳島県中部～西部にかけての診療圏を持つ二次救急病院であり、人口過疎地域であり、かつ医師不足地域であります。そのため様々な疾患に対応出来る能力が必要とされます。これにより高度な医療を担うための基礎を養成します。

また中～西部の各診療所との密な医療連携が必須であり、特に山間過疎地域での地域医療研修が可能です。更に各科の連携が密であり、また国公立病院にない自由さが特徴です。

吉野川医療センター臨床研修プログラム

1年次スケジュール

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1週	内科	内科	循環器科	循環器科	消化器科	消化器科	救急	救急	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科
2週	内科	内科	循環器科	循環器科	消化器科	消化器科	救急	救急	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科
3週	内科	内科	循環器科	循環器科	消化器科	消化器科	救急	救急	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科
4週	内科	内科	循環器科	循環器科	消化器科	消化器科	救急	救急	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科

2年次スケジュール

	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1週	地域医療	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択
2週	地域医療	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択
3週	地域医療	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択
4週	地域医療	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択	選択

【備考】

- 基幹型臨床研修病院での研修期間…最低96週
- 臨床研修協力施設での研修期間…最大4週
- 研修プログラムに規定された4週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数…0回(通常当直は週1回程度)
- 救急部門(必修)における麻酔科の研修期間…0週(尚、自由選択中に選択する場合は、4週)
- 麻酔科の研修を実施希望の場合は、自由選択期間中に行う為、救急の期間としてカウントしない。
- 一般外来の研修を行う診療科…内科、外科、小児科、地域医療
- 研修医の履修状況・希望に応じてスケジュールの適切な変更を行うことができる。
- 選択科目で各施設での選択可能科
 - ・吉野川医療センター…内科、循環器科、消化器科、心臓血管外科、小児科、外科、脳外科、整形外科、産婦人科、耳鼻科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、総合診療科、臨床検査科(病理)
 - ・木屋平診療所…地域医療
 - ・藍里病院…精神科、心療内科
 - ・阿南医療センター…内科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科、神経内科、漢方内科、リウマチ科、消化器内科、消化器外科、小児科、外科、こら門外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

3. 診療科

内科	総合診療科	消化器科	循環器科	心臓血管外科	小児科
外科	消化器外科	肛門科	脳神経外科	整形外科	リウマチ科
産婦人科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	放射線科	リハビリテーション科	
臨床検査科	眼科	皮膚科	形成外科	脳ドック	麻酔科

4. 病院概要（令和6年4月現在）

開設年月日：平成27年5月4日 常勤職員数：550人 非常勤職員数：124名

病棟数：8病棟

手術室：5ルーム

病床数：290床

腎センター：56床

付帯施設：訪問看護ステーション協同、にこにこ保育園

主な設備：256列マルチスライスCT、3.0テスラMRI、カプセル内視鏡装置

医療機器 上部・下部内視鏡、気管支鏡、人工透析装置（最大56人分）

人工呼吸器、腹部超音波装置、患者監視装置

人工関節手術用ナビゲーションシステム、心臓超音波装置、AED

循環器系血管連続撮影装置（パイプライン）、頭部腹部血管連続撮影装置

半自動除細動器、循環器血管内超音波装置（IVUS、IB-IVUS、VH-IVUS）

大動脈バルーンパンピング（IABP）、経皮的循環補助システム（PCPS）

各種生化学用等臨床検査装置、胃透視用X線装置、X線一般撮影装置

骨密度測定装置、全身麻酔器、医用画像管理システム（PACS）

電子カルテ、携帯型エコー、ビデオ喉頭鏡、災害時用医療セット

ACLS・BLSシミュレーター、その他多数

1日当たり外来患者数	633.9人	1日当たり入院患者数	253.9人
外来患者累計	154,671人	入院患者累計	92,914人
平均在院日数	13.0日	年間救急車来院患者数	3,536人
時間外外来患者数	5,465人	1日当たり救急車数	9.7台

（令和5年4月～令和6年3月）

5. 指定・認定等

地域医療支援病院、救急告示病院、病院群輪番制病院（2次救急病院）、災害拠点病院

徳島DMAT指定病院、臨床研修指定病院（基幹型・徳島大学病院協力型）

開放型病院、生活保護・更生医療・労災指定病院、難病医療協力病院、保険医療機関



6. 各学会認定施設

日本内科学会教育関連病院

日本呼吸器学会関連施設

日本循環器学会指定研修施設

日本透析医学会認定施設

日本外科学会専門医制度修練施設

日本消化器外科学会専門医制度修練施設

日本泌尿器科学会専門医教育施設

日本整形外科学会専門医制度研修施設

日本脳神経外科学会専門研修関連施設

日本不整脈学会日本心電学会

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設

日本高血圧学会専門医認定施設

日本消化器病学会関連施設

日本消化器内視鏡学会専門医修練施設

放射線科専門医修練協力機関

母体保護法指定施設

日本臨床細胞学会認定施設

日臨技精度保証認定施設

認定不整脈専門医研修施設

7. 医師数（当院のみ・括弧内女性医師数）

内科	3名（3）	耳鼻科	3名（2）	心臓血管外科	非常勤
総合診療科	1名	眼科	非常勤	麻酔科	1名
消化器科	6名（2）	泌尿器科	5名		
循環器科	4名	放射線科	2名（1）		
外科	5名（1）	産婦人科	3名（1）		
脳外科	2名	小児科	2名（2）		
整形外科	6名	臨床検査科	1名		
皮膚科	非常勤	形成外科	非常勤		

臨床研修指導医養成講習会受講者数：26名 ※ 全科とも各学会の認定医、専門医、指導医在籍。

8. 処遇

身分：常勤嘱託
業務内容：研修医としての業務
契約期間：初期臨床研修中の2年間。但し状況により延長、研修修了後当院のスタッフとしての採用あり。
試用期間：無し
就業場所：当院並びに研修にかかる関連施設
勤務時間：午前8時30分～午後4時45分（日・宿直：約3～4回/月）時間外勤務有
休憩時間：原則12時～13時
休日休暇：土曜日、日曜日、祝日、年末年始、年次有給休暇（1年目10日・2年目12日）
夏季休暇（5日間）、結婚・引引休暇、出産休暇他
給与：1年次 313,050円（月額） 2年次 337,450円（月額）
賞与：1年次 680,000円（程度） 2年次 730,000円（程度）
昇給：年1回
諸手当：通勤手当、時間外手当、休日等割増手当 宿日直手当 10,000円/回
住居手当（最高5万円※条件あり）、図書費3万円（年額）
宿舎：有（宿舎希望時は管理課へ）
社会保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
設備：研修医医局、インターネット、メールアドレス使用可能
福利厚生：国内アミューズメント施設割引制度、スポーツクラブ法人会員
親睦会主催による国内旅行、忘年会等
保育施設：にここ保育園（吉野川医療センター敷地内）
その他：医師賠償責任保険は個人加入、健康診断年1回

9. 採用について

募集方法：公募 募集定員：4名
募集開始：毎年6月1日～ 選考時期：毎年8月1日～
必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書、医師免許
取得者は医師免許証写し
選考方法：面接、小論文
マッチング利用の有無：有（定員割れの際は随時募集）

【病院見学随時受付中】

日時：毎週月・金曜日 午前10時～午後3時（要予約・応相談）

日程：午前10時～病院概要・研修スケジュール説明

午前11時～病院内見学

正午 昼食

午後1時～手術室等見学（途中、指導医・上級医・研修医とお話ができます。）



日本循環器科学会四国地方会



オリエンテーション



外科ハンズオンセミナー



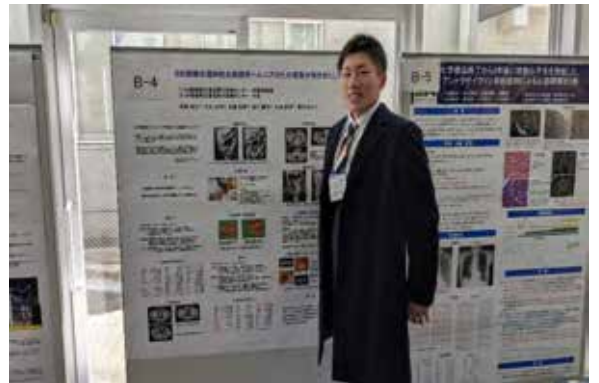
救急疾患症例検討会（毎週火曜日）



初期臨床研修医歓迎の集い



気管内挿管



徳島医学会学術集会



スキルラボ講習会



海外研修（台湾・高雄医科大学）



正面玄関



1階エントランスホール



外来ブロック受付



外来診察室



手術室



LDR室



大部屋



個室



応募・問合せ先

〒776 - 8511

徳島県吉野川市鴨島町知恵島字西知恵島 120

JA 徳島厚生連 吉野川医療センター 管理課 臨床研修担当宛

TEL : 0883 - 26 - 2222 FAX : 0883 - 26 - 2300

e - mail kanrika5@ja-ymc.jp URL <http://www.ja-ymc.jp/>

